

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和7年度第2回戸田市立郷土博物館協議会
開催日時	令和8年3月11日（水）午後2時から午後3時まで
開催場所	戸田市立郷土博物館 3階 講座室
委員長等氏名	戸田市立郷土博物館協議会 会長 佐藤勝巳
出席者氏名 （委員）	佐藤勝巳（会長）、福田聖、星野正義、長谷川理、寿原淑郎、武内三枝子
欠席者氏名 （委員）	伊藤裕厚（副会長）
事務局	中沢課長、末次主幹、本橋主幹、今井主任
説明のため 出席した者	なし
議 事	（1）戸田市郷土博物館ビジョン進捗状況について （2）令和8年度郷土博物館・彩湖自然学習センター事業計画（案）について （3）その他
会議結果	生涯学習課郷土博物館担当から議題の内容について報告をし、報告事項に対して郷土博物館協議会委員から意見を聴取した。
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1-1：戸田市郷土博物館ビジョン進捗状況の実施評価 ・資料1-2：戸田市郷土博物館ビジョン進捗状況まとめ ・資料1-3：戸田市郷土博物館ビジョンの進捗状況について ・資料1-4：戸田市郷土博物館ビジョン ・資料2-1：令和8年度郷土博物館事業計画（案） ・資料2-2：令和8年度彩湖自然学習センター事業計画（案）
議事録確定	令和8年3月28日 戸田市立郷土博物館協議会 会長 佐藤 勝巳

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1 開会 事前配布資料（資料 1 - 1 ~ 資料 2 - 2）の確認。
事務局	伊藤委員から欠席の連絡があった旨報告。 戸田市立郷土博物館条例施行規則第 16 条第 2 項の規定における成立要件となる委員の過半数の出席を満たしていることを報告。
会長	2 会長あいさつ
事務局	次第 3 の議事に移る。議事の進行については、戸田市立郷土博物館条例施行規則第 16 条第 1 項の規定により、会長が務める。 ※議事に入る前に傍聴人はいない旨報告。
会長	4 議事 (1) 戸田市郷土博物館ビジョン進捗状況について 議事（1）について、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料 1 - 1 ~ 1 - 4 に基づき、事務局から説明
会長	議事（1）について、委員の方から何かご意見・ご質問等あるか。
委員	公文書館が設置されたということで、デジタル文書について将来的に紙でない媒体をどのように保存されていくのか。博物館の所管から離れた業務ではあるが、戸田市がどのように考えているのか気になる。
事務局	庁内の行政文書はすべて文書管理システムで作成されていて、收受文書の原本が紙である以外はすべて電子で完了している。電子のものも紙のものも保存年限に応じて管理している。電子メディア等の変化が想定されるなかで、将来、公開に供するにあたり、見読性の確保は課題であると思う。

委員	システムやクラウドで保存するということになるのか。
事務局	現状、システムの運用はクラウドである。今後、どのようにしていくかは所管課の考えによる。
委員	<p>大きな曲がり角に来ていると思う。自分の所属機関でも、クラウドの中に巨大なファイリングキャビネットがあるような形で運用されている。今後公文書の保存がどのようになっていくのか、公文書の保存と将来的な活用について活動してきた伝統のある館なので、考え続けてほしい。</p> <p>もう1点、文化財の活用という面での質問として、チャットボットのような形でキーワードに従って文化財の説明を提供するというようなものを実施するような話はあるのか。</p>
事務局	当館の取り組みとしては手がついていない状況である。常設展示室内の二次元コードで収蔵品管理システムの付帯機能としてアプリで解説を取得できるというものは一部実施している。
会長	進捗状況の報告を受けて、27件中24件が予定どおり実施できていて未実施が1つということで、よくやっていると思う。ただ、郷土博物館・彩湖自然学習センターともに動画配信で「縮小」となっている。彩湖自然学習センターが年に3回実施となったというが、動画配信の時期はどのようになっているのか。
事務局	今回も今後も、講座の紹介を主に配信していく予定である。従来の告知では内容が伝わりづらく、参加までしてもらえないことがある。前年度実績で参加者の少なかったものを中心に、最低3回実施したいと考えている。
会長	市の他部署では講座そのものを配信する事業を実施しているようである。
事務局	講座の動画配信については、参加者の映り込みの問題や、動きのあるもの、屋外での活動の撮影が困難であることから、彩湖自然学習センターでは実施は考えていない。

	(2) 令和8年度郷土博物館・彩湖自然学習センター事業計画(案)について
会長	議事(2)について、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料2-1、2-2に基づき、事務局から説明
会長	議事(2)について、委員の方から何かご意見・ご質問等あるか。
会長	来年度のロビー展「桃の節句」は、今年度の展示とは別のものを展示するのか。
事務局	別のものを展示する。開館当初から節句人形の寄贈を多く受け入れていたため、紹介しきれない人形も多い。せっかく受け入れてきた資料であるので、資料の状態を確認しながらなるべく多く展示したい。
委員	彩湖自然学習センターの新しい講座は、外部講師を呼ぶのか内部講師か。
事務局	外部講師である。
会長	外来種をテーマにしたものがあるが今はこうしたものがあるのか。
委員	桜の木を枯らすとか今はとても問題になっている。
会長	他ではやっていない珍しい事業ではないか。
事務局	昨年までのザリガニ釣りがこれに相当していた。釣っても池には戻さないという内容であった。夏実施であったため暑さが危険であるとして、内容を変えて実施する。
会長	座学で実施するのか。
事務局	内容はこれから詰めるが座学の予定である。

会長	彩湖自然学習センターもたくさんの講座を実施しているので参加者も楽しみではないか。
委員	子供たちがついこの間もお世話になった。すごく喜んで帰ってくる。今後ともよろしくお願ひしたい。近頃の子供は機械に長けているところがあるのか、ゲーム機の変遷などをテーマに企画すると子供も寄ってくるのでは。
事務局	ゲーム機については、昔のくらし展でもファミコンなどを展示した。近頃の子供はゲーム機をテレビにつないで遊ぶというのがわかりづらいようであるので、テレビにつないだ写真も並べて展示した。保護者から思い出話を聞いたとか、今も保護者が持っていたり一緒に遊んだりという話も聞く。来年度以降も遊びの道具の一つ、身近なものとして展示に取り入れていく。
会長	来年度の企画展でコロナウイルスを取り上げると聞いた。それも含めて、災害や防災に関連した講座や展示を考えられるといいと思う。ちょうど今日は15年前の震災の日である。今後検討されるのもいいのではないかとと思う。市役所の他部署との連携も可能ではないか。
委員	資料1-4のアーキビストという言葉について、説明してほしい。
事務局	資格として国立公文書館が認証しているものが主流になってきている。公文書館・文書館で働く専門職員である。組織で日々発生する記録について、世代を超えて永続的な価値のあるものを評価選別し、将来にわたって利用を保証する作業を行う職である。国立公文書館では長期間の研修実施や資格の認証を行っている。一定期間の研修を受けて修了論文を提出した者、大学院修士課程修了後研究している者等が申請して認証を受ける。令和2年度から6年度までで355人が認証を受けている。戸田市では行政管理課に2名在籍している。準認証アーキビストという資格もあり、戸田市アーカイブズセンター職員も1名認定されている。
委員	将来的に公文書館と郷土博物館が連携して事業を実施するということがあるのか。

事務局	<p>今回行政管理課に所管が移るまでは、郷土博物館で歴史公文書を所管していた。これまでも歴史公文書を展示に利用してきた。公文書館の取り組みの中にも外部への発信のための歴史公文書の利用があるので、機会があれば展示の際に利用させてもらうことになる。</p>
会長	<p>博物館に学芸員、図書館に司書、公文書館・文書館に専門職としてアーキビストがいるということである。日本語訳がない言葉なのでなじみがなく苦労している。</p> <p>(3) その他</p>
会長	<p>議事(3)について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>令和8年度第1回戸田市立郷土博物館協議会については、令和8年9月または10月頃の開催を予定。郷土博物館協議会委員の任期がこの3月末までとなっている。次の任期は令和8・9年度となる。次期委員の委嘱状況によるが、決まり次第連絡させていただく。</p>
会長	<p>本日の全ての議事が終了したので、進行を事務局へお返しする。</p> <p>5 閉会</p>
事務局	<p>以上で令和7年度第2回戸田市立郷土博物館協議会を閉会とする。</p> <p>議事終了 閉会 午後3時00分</p>